

平成 22 年度 工学研究科・工学部技術部 特別講演会報告

荒井重勇

工学系技術支援室 分析・物質技術系

平成 22 年 10 月 22 日に実施した工学系技術支援室の特別講演会は技術職員 62 名中、出席者 47 名（欠席者の主な理由は業務の都合、人事労務課主催のセミナー参加等）であった。工学研究科副研究科長の田中英一先生より開会の挨拶をいただくとともに、最新の大学運営報告や、技術職員がさらに高度な技術支援を工学研究科に対し行うためにもこのような講演会は必要であるという意見をいただいた。

講演 1 では近年注目を浴びている情報クラウドについて名古屋大学の取り組みを、情報連携統括本部情報戦略室の梶田将司准教授に講演していただいた。概要は、ウェブ時代における大学の情報化を管理業務の情報化 (Administrative Computing) と教育・研究の情報化 (Academic Computing) の側面からクラウドの時代に向けてパラダイムが変わりつつある現状と、大学の情報化のあるべき姿としてアカデミッククラウド環境のアーキテクチャ等についてであった。

講演 2 ではシンクロトロン光施設のコンセプトについて、シンクロトロン光研究センター長の竹田美和教授に講演していただいた。その概要は、愛知県の科学技術交流センター構想の「知の拠点」の目玉施設として中部シンクロトロン光利用施設が建設されることが決定した。名古屋大学はシンクロトロン光研究センターが中心となり愛知県、大学連合、科学技術交流財団、産業界の連携の基、基本コンセプトの構築、設計、立ち上げ、運転、科学技術支援を行い、既に光源加速器、ビームライン、測定系、実験棟の製作および建築も始まっている。この中部シンクロトロン光利用施設の光源の特徴と何が測定出来るか、学術上・産業応用上どのような利用ができるかについてであった。

平成 22 年度 工学研究科・工学部技術部 特別講演会プログラム

日時：10月22日（金）8時45分～12時

場所：ベンチャービジネスラボラトリー3階ベンチャーホール

内容：

9:00～ 受付開始

9:15～9:25 開会に際して

工学研究科副研究科長 田中英一 教授

9:30～10:30 講演 1

演題：アカデミッククラウド環境～教育研究環境のパラダイムシフト～

情報連携統括本部情報戦略室 梶田将司 准教授

10:30～10:45 （休憩）

10:45～11:45 講演 2

演題：シンクロトロン光研究センターと中部シンクロトロン光利用施設について

シンクロトロン光研究センター長 竹田美和 教授

11:50～12:00 閉会の挨拶

佐々木敏幸 工学系技術支援室長